

やどりき水源林ニュース

発行(財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

涼を求めて…水源林で夏を楽しむ



夏休みになって寄沢で遊ぶ子どもたち「気をつけてね!」と声をかける

夏本番! 水源林は気温も市街地より2~3 低く、寄沢のせせらぎや森をわたる風が心地よく感じられます。子どもたちが沢や森で、思い思いに夏を楽しみ自然と親しむよい機会です。

定例観察会の案内人は夏の自然を皆様にお伝えするために研修をしました。

<安全に自然を楽しむために>

沢に入るときは脱げにくい靴か長靴をはく
 子どもから目を離さない(意外に親が夢中になるようです)

日射、熱射病に注意(着帽と十分な水分補給)



川底の石の表面にもいますよ



見つけた生物

水生生物研修会 のようす

寄沢は、酒匂川支流の中津川源流域の沢です。酒匂川の水は神奈川県民の飲料水となっています。寄沢には、きれいな水に棲む水生生物がたくさんいます。これは周囲に水源林があるからで、きれいな水は豊かな森が作ります。



カジカガエル

夏の昆虫たち

水源林では、ミンミンゼミやヒグラシなどゼミの仲間がせわしく鳴いています。林道沿いでは多くの昆虫と出会えます。



左から ミヤマクワガタ(オス)、カラスアゲハ、ルリタテハ、フクラスズメ(幼虫)、オニヤンマ

自然から学ぶ

生物は、季節の変化、空気や川の汚れなどを私たち人間より早く感じて私たちに自然の変化を教えてください。寄沢に棲む水生生物は水質を、水源林に棲む昆虫たちは季節の訪れや森の豊かさを教えてください。また、昆虫は自分の好きな植物(餌となる植物や卵を産みつける植物)を選んだりしますので、昆虫と植物の結びつきも教えてください。さらに、昆虫が多いとそれを餌とする鳥類も多く集まってきます。

水源林の表土には落葉や落枝、動物の糞や死骸など堆積物がありますが、そこには多くの土壌生物が棲み、堆積物を分解し、スポンジのように雨水を地中に浸透させやすい土壌が作られます。地中に浸透した雨水は、濾過されたり岩石の間を通ったりしてミネラルを含んだ「おいしい水」となって寄沢などに流れ込みます。

写真：土壌調査と土壌生物(左コムカデ、右アカゲダニ、共に体長3mm)



イワタバコ(山萵苣:やまぢさ)



山萵苣の白露しげみつらぶるる
心も深くわが恋止まず
柿本人麿歌集(巻十一 一四六九)

水源林でも多く見られるようになりました

「成長の森」作業進行中!

19年度から始まった「成長の森」。赤ちゃんの生まれた家族からいただいた参加費で苗木を購入し、県に寄贈し植栽します。

4年目の今年は、1000人を超える方から参加申し込みがあり、現在22年度の植栽地を整備しています。また、「19・20・21年度成長の森」では、植栽した苗木の成長を妨げる下草を刈る作業が行われています。

8月のトピックス

タマアジサイ(写真)が咲いています。球形のつぼみが砕けるように開き始めて見事です。

8月の土曜・日曜の定例観察会は水生生物を中心に行います。

例年10月に開催されていた「水源林のつどい」が8月に開催されます。(参加申込は締め切られました)



9月の水源林

涼くなった水源林では、少しずつ色づきはじめる果実が目につきます。また、キク科やシソ科の仲間、マツカゼノウ(写真)など小さくて地味ですが秋の花が見られます。果実や花が終わった後の種子を観察しながら、自分で動くことのできない植物が子孫を増やすためにどんな工夫をしているか見てみましょう。

